

## エイジング社会の教養科目群

科目コード	OG212	科目名	歴史の中の学校教育		科目群	第1群
担当者	前田 一男 (マエダ カズオ)					
開講日程・時限	夏期集中9月11日、12日、13日(10:00~17:00)	授業方式	対面	単位数	2単位	
備考	履修人数制限なし					
授業の目標	近世日本の教育から敗戦直後までを対象にしながら、特に戦時期に焦点を当てながら、現在の学校が、近代日本の歴史的な展開の上に成り立っていることを理解し、教育を歴史的に考察する見方や考え方を学んでいきたい。					
授業の内容	当たり前のように通っている「学校」が、近代社会のなかで学校がどのように作られてきたのか、その役割と機能とは何であったのかを、歴史的に跡づけながら、さまざまな教育問題を突きつけられている「教育の現在」を確認していきたい。教育理念と学校制度の展開の視点において近代学校教育を考察し、とりわけ大正自由教育から戦時下の教育への変遷については、現代の戦争を意識しながら、受講者とともに考えていきたい。					
授業計画	第1日 第1回 ガイダンスとこの授業のねらい 第2回 近代教育 150年の通史的理解 第3回 近世の教育―特に手習塾(寺子屋)に注目して 第4回 明治初年の教育―近代化への始動 第5回 国民統合と「知」の配分―教育勅語の発布― 第2日 第6回 国民統合の動揺と再編成―教育理念の展開― 第7回 学問と教育の関係史(1)―初代文部大臣・森有礼の役割― 第8回 学問と教育の関係史(2)―南北朝正閏問題の意味― 第9回 近代学校の成立とその歴史的な性格 第10回 近代学校批判の展開(1)―大正自由教育の試み― 第3日 第11回 近代学校批判の展開(2)―自由学園を中心に― 第12回 立教大学野球部と戦争への道 第13回 総力戦体制と教育―錬成教育と一人の教師のあゆみ― 第14回 敗戦と教育―戦争孤児の戦後史― *自由学園の明日館に施設見学に行く予定。					
成績評価方法	平常点による評価					
講義中に直接使用する教科書	その都度、授業内容に即したプリントを配布するので、特に指定しない。					
上記教科書以外の参考図書	寺崎・前田編、1993、『日本の教師 歴史の中の教師Ⅱ』、ぎょうせい。 片桐・木村編、2017、『教育から見る日本の社会と歴史』、八千代出版。					
その他 (HP 等)						